



# 操作ガイド

## 共通マニュアル

4 chデジタルハイビジョンレコーダー

# MPC-GR304

16chデジタルハイビジョンレコーダー

# MPC-GR216

16ch ハイブリッドレコーダー

# MPC-GR616

4chデジタルレコーダー

# D-REC 304N

P.2	ライブ映像を見る
P.3	映像の表示方法
P.4	システムのログイン
P.5	映像の検索
P.8	検索映像の再生
P.9	バックアップ
P.11	バックアップの再生
P.12	時計合わせ
P.13	システムの再起動

※ 上記機種のほか、MPC-GR104・GR204・GR116・HR516・DREC-104N・204N・116N・316N・416Nにも対応しています。

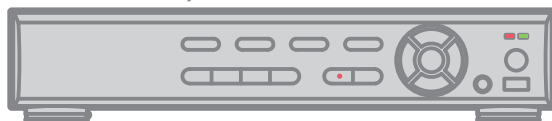
MPC-GR616



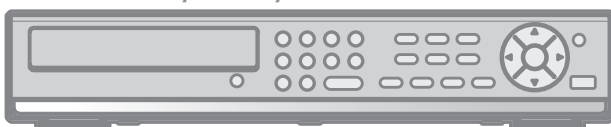
MPC-GR104/GR116/GR204/GR216/HR516



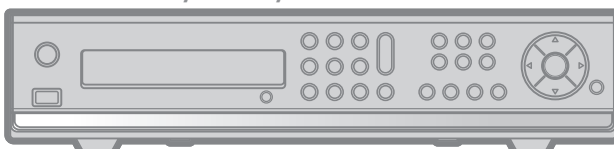
D-REC 204N/ 304N



D-REC 104N/416N/GR304



D-REC116N/316N/MPC-HR416





# ライブ映像を見る

本書は異なるチャンネル(16CHと4CH)のレコーダー 5 機種 の共通マニュアルです。機種や CH 数により表示内容が違ったり、対応しない機能なども一部含まれます。また、御導入のシステム構成によってサポートされない機能がごさいます。

## 基本画面/メニュー

操作メニューはタスクバーとポップアップメニューの2種類で表示されます(メニューの内容はほぼ同じです)。

**ポップアップメニュー**  
画面上でマウスを右クリック操作すると表示されます。

**タスクバー**  
マウスカーソルを画面下へ移動させると表示されます。

各CHの右上には録画状況のアイコンが表示されています。表示がないCHは録画されていません。  
モーション録画は、指定したエリアに動きがあった場合に録画を開始する機能です。(サービスマンによる事前登録が必要)

**タスクバーを常に表示**  
タスクバーの常に表示させる、または通常時隠しておくかを選択できます。

**ch情報**  
選択したチャンネルの録画設定情報を表示します。

**システム情報**  
システムの情報を表示します。



以下のメニューは、タスクバーとポップアップメニューの共通項目です。

	<b>システム終了</b> システムを終了します。 P.13【システムの再起動】		<b>PTZ</b> (追尾カメラの手动操作は、別途専用コントローラーを使用) 本システム構成では使用しません。
	<b>システムロック</b> パスワードでシステム操作に制限をかけます。 P.3【システムのログイン】		<b>画面自動切換え ON/OFF</b> 自動でchの表示切替を開始、または停止を行います。 4 CH機種 (1 画面表示)、16 CH機種 (1・4・8 画面表示) 時のみ。
	<b>設定</b> (サービスマンモードです。通常は使用しません) 設定メニューに入ります。		<b>手动録画 ON/OFF</b> 録画の設定状況に関係なく、緊急録画の開始 / 停止を行います。 録画した映像は「イベント検索」内の「手动録画」ログから再生することが出来ます。 強制的に録画をするため、HDD消費量が上がります。使用後は必ず解除して下さい(データの保存日数が大幅に短くなる場合があります)。
	<b>AUDIO/消音</b> (音声出力には集音機器などの接続が必要です) 音声を出力するchを切替、または OFF にします。 クリックすること「CH1」～「CH16」→「消音」→「CH1」～の順番で切り替わります。		<b>アラーム出力 ON/OFF</b> アラーム出力機能を ON/OFF します。
	<b>検索</b> 検索メニューが開きます。 P.4【映像の検索】		
	<b>バックアップ</b> 表示している映像を静止画として保存します。 P.9【バックアップ】		

映像の表示分割数を変更できます。クリックすることに表示CHが切替わります。

<b>1画面表示</b> 映像を1画面で表示します。	<b>9画面表示</b> 映像を9画面で表示します。 機種により 8画面表示の場合があります。
<b>4画面表示</b> 映像を4画面で表示します。	<b>16画面表示</b> 映像を16画面で表示します。

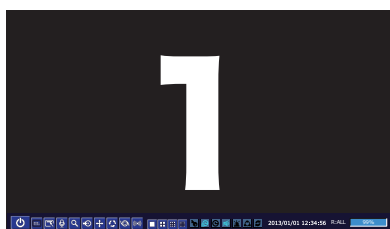
画面の分割表示については、  
P.2【映像の表示方法】

タスクバーに各種状態が表示されます。

	画面自動切換えが作動中に点灯します。		アラーム出力機能がON状態時に点灯します。
	システムロック中に点灯します。		ネットワーククライアントのアクセス中に点灯します。
	モーションまたは外部センサー連動による録画時に点灯します。		音声出力中のchの数字を表示します。
	アラーム出力中に点灯します。		現在の年月日と時刻を表示。
	HDDの使用状況をパーセント表示。		

# 映像の表示方法

## 画面の分割表示



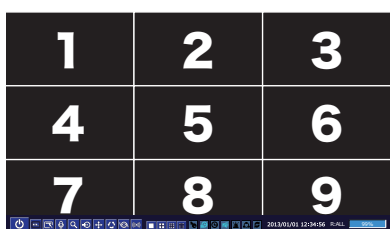
映像を1画面で表示します。

■をクリックするたび、表示CHが切り替わります。



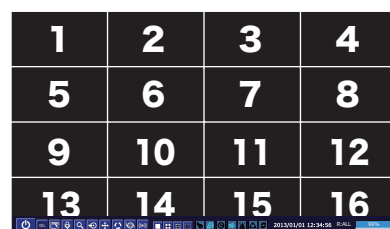
映像を4画面で表示します。

■をクリックするたび、表示CHが切り替わります。



映像を9画面で表示します。※機種により、田8画面表示場合があります。

■をクリックするたび、表示CHが切り替わります。

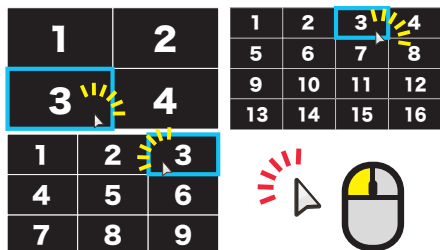


映像を16画面で表示します。

■をクリックするたび、選択CHが切り替わります。

画面の数字は解説上のもので、実際の画面には表示されません。

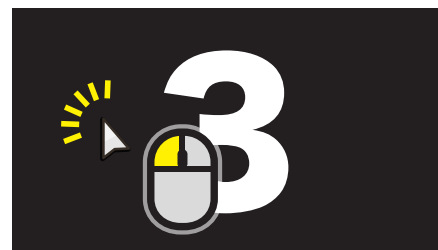
## 簡単に一画面表示



一画面で表示したい映像上でダブルクリック。



選択した映像が一画面で表示されます。



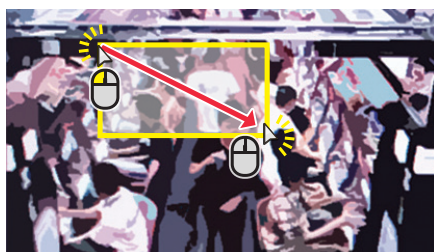
元の画面に戻すには、再度ダブルクリックします。

画面の数字は解説上のもので、実際の画面には表示されません。

## デジタルズーム機能



拡大したいCHを一画面で表示します。



拡大したい部分をドラッグ&ドロップで範囲指定します。

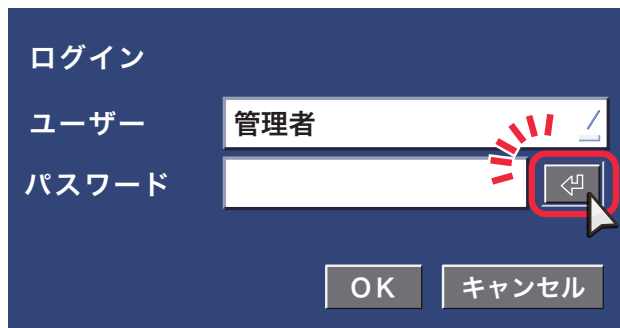



選択部分がデジタルズームされます。

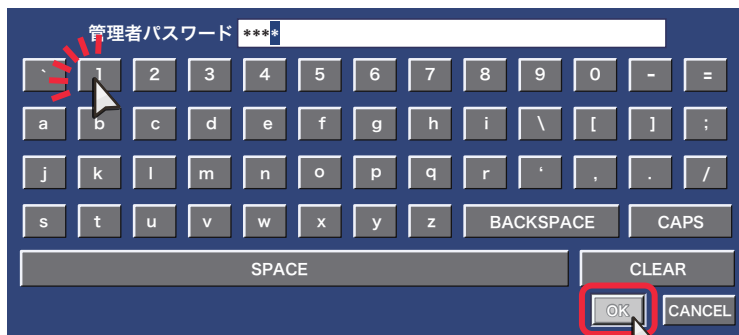
# システムのログイン

## ログインの手順

システムロックの設定や解除、システムの終了時などにパスワードの入力が必要になります。またシステムの操作に権限レベルを設定している場合は、操作メニューによって権限のあるユーザーでログインする必要があります。



ログインウィンドウが表示されたら、パスワード横の  をクリック。



画面上に仮想キーボードが表示されます。  
正しいパスワードをクリック入力し、右下の **【OK】** をクリック。



パスワードが入力されたら **【OK】** をクリック。

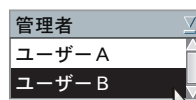


ご注意

本製品 出荷時の初期パスワードは「1111」に設定されています。

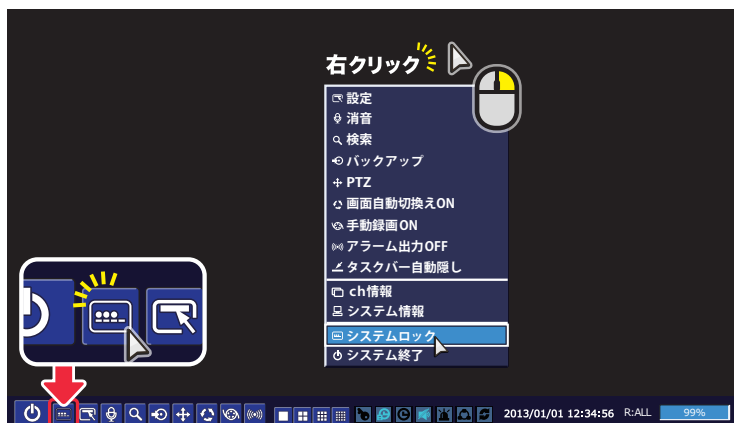
※ パスワードの設定変更は、当社サービスマンにお申し付け下さい。  
※ 変更したパスワードは、メモなどに書き残し厳重に管理して下さい。

ユーザー別に操作可能メニューを区別している場合は、ユーザーの選択が必要です。



## システムをロック/解除する

システムのロックを行うと、システムの操作が行えなくなります。ログイン画面のパスワードを入力することでロックは解除されます。



ツールバーから  をクリック。

（または、右クリックでポップアップメニューを呼び出して **【システムロック】** をクリック）



システムのロックとロック解除は同じ手順です。

ログインパスワードが求められます。

上記の **【ログインの手順】** でパスワードを入力して **【OK】** をクリック。

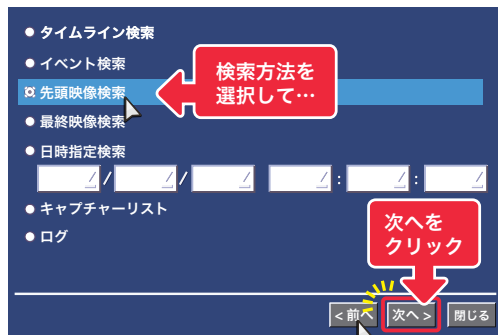
# 映像の検索

## 検索の方法を選択する

### 検索メニューを開く



ツールバーから **🔍** をクリック。  
(または、右クリックでポップアップメニューを呼び出して **【検索】** をクリック)



検索方法を選択するウィンドウが表示されます。  
以降の解説を参考に、検索方法を選択してください。

### カレンダーについて

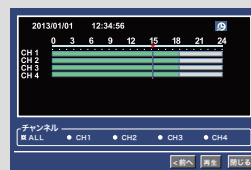
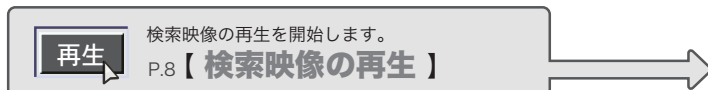


検索方法により、上図のカレンダーが表示されます。調べたい日付を選択し、右下の **【次へ】** をクリック。

※カレンダーの形式や配色は機種により若干異なります。

## 🔍 タイムライン検索

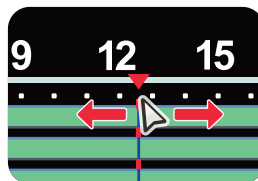
タイムライン検索を選択後、カレンダーから任意の日付を指定すると以下のタイムライン検索画面が表示されます。  
再生したい時刻とCHを指定して **【再生】** をクリック。



4CH機種は4本のタイムラインで表示されます。



**🕒** ボタンをクリックするたびに、時間を表示しているメモリの単位が **【24時間】** ⇄ **【60分】** と切り替わります。



録画データの有効な範囲内で、▼赤いつまみをスライドさせることができます。▼が指定している時間を頭に再生が始まります。



再生したいCHを選択します。  
**【ALL】** にチェックを入れるとすべてのCHを分割表示で再生します。



時刻とCHが決まったら **【再生】** ボタンをクリック。



# 映像の検索

## 🔍 イベント検索

イベント検索を選択後、カレンダーから再生したいデータの日付を指定すると以下のイベント検索画面が表示されます。

チャンネル CH1|CH2|CH3|CH4|CH5|CH6|CH7|CH8|CH9|

イベント検索 モーション録画|センサー|マニュアル|常時録画

各タブをクリックすることで、それぞれの種類別に並び順を整理できます。

1 / 1

前ページへ 次ページへ

チャンネル	ログ	日付
CH1	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH2	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH3	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH4	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH5	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH6	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH7	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH8	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH9	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH10	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH11	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH12	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH13	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH14	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH15	常時録画	2013/01/01 12:34:56
CH16	常時録画	2013/01/01 12:34:56

現在選択しているデータ

60個のログが見つかりました。

保存

< 前へ 再生 閉じる

右端の をクリックすると、検索条件を選択する下記のウィンドウが表示されます。検索する CH 番号、イベントタイプにチェックを入れ **OK** をクリック。

チャンネル

ALL

CH1 CH2 CH3 CH4 CH5 CH6 CH7 CH8  
CH9 CH10 CH11 CH12 CH13 CH14 CH15 CH16

イベント検索

ALL モーション録画 センサー録画 ☒ 手動録画 常時録画

OK キャンセル

### イベント検索

- ALL 全ての録画データ対象
- モーション録画 モーション録画設定で録画されたデータ対象
- センサー録画 センサー連動による録画データ対象(事前にセンサーの接続が必要)
- 手動録画 ☒ 手動録画機能で録画したデータ対象
- 常時録画 通常の録画(モーション、センサー、手動録画以外の)データ対象

再生

検索映像の再生を開始します。

P.8 **【 検索映像の再生 】**

保存

検索結果のログを、txt 形式で USB メモリーに保存します。  
レコーダー本体の USB 端子に USB メモリーを接続し、「保存」(機種によっては「バックアップ」)ボタンをクリックします。  
USB メモリー内に、データ日付名のフォルダが作成され、展開すると「EventLog.txt」というタイトルのテキストデータが保存されています。

▶ 20130101 ▶ EventLog.txt

例：2013年1月1日

## 🔍 先頭映像検索

HDD に保存されている、一番古い録画データを再生します。

● タイムライン検索

● イベント検索

☒ 先頭映像検索

● 最終映像検索

● 日時指定検索

● キャプチャリスト

● ログ

< 前へ 再生 閉じる

先頭映像検索を選択し、右下の **【再生】** をクリック。

再生

検索映像の再生を開始します。

P.8 **【 検索映像の再生 】**

## 🔍 最終映像検索

HDD に保存されている、最新録画データを再生します。

● タイムライン検索

● イベント検索

☒ 最終映像検索

● 日時指定検索

● キャプチャリスト

● ログ

< 前へ 再生 閉じる

最終映像検索を選択し、右下の **【再生】** をクリック。

## 🔍 日時指定検索

指定した日時の録画データを再生します。

● タイムライン検索

● イベント検索

● 先頭映像検索

● 最終映像検索

☒ 日時指定検索

2013 / 01 / 01 12 : 34 : 56

● キャプチャリスト

● ログ

< 前へ 再生 閉じる

日時指定検索を選択し、再生したい録画データを「年/月/日/時/分/秒」で設定します。

2013 / 01 / 01 12 : 34 : 56

設定後、右下の **【再生】** をクリック。



# 映像の検索

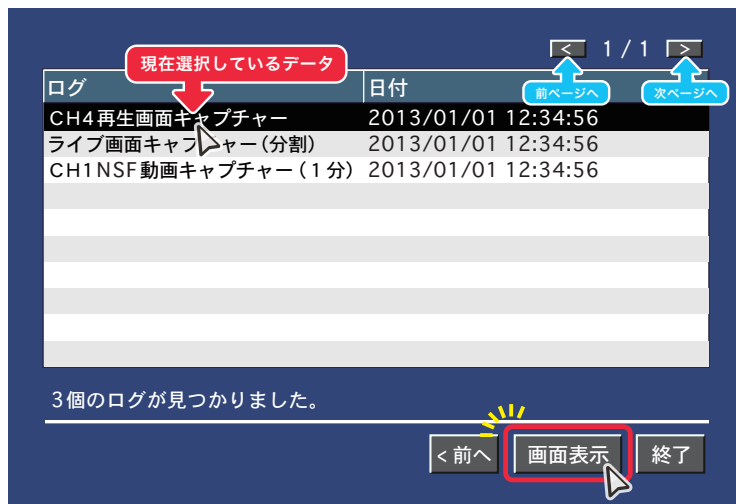
## キャプチャーリスト

過去にバックアップした静止画や動画のキャプチャーログを閲覧・再バックアップすることができます。



ご注意

キャプチャーリストから直接動画を再生することはできません。  
外付け HDD に直接記録される大容量バックアップの記録は残りません。



キャプチャーリストを選択し、カレンダーから検索したい日付を設定後、上図のキャプチャーログ画面が表示されます。

確認したいログを選択し、右下の【画面表示】をクリック。



表示されたサムネイルと詳細データを確認し、間違いがなければ右下の【バックアップ】をクリック。

選択したキャプチャーデータがUSB メモリーに保存されます。

キャプチャーデータが動画の場合は動画で、静止画の場合は静止画で再バックアップされます。

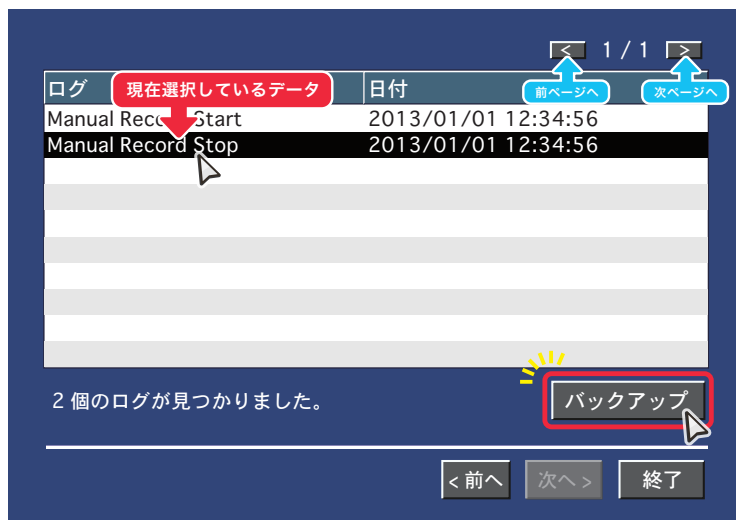
バックアップ

保存したデータの再生方法は、

P.11【バックアップの再生】

## ログ

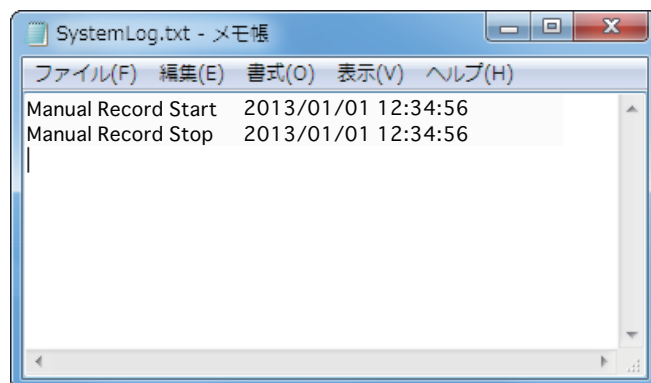
システムの動作や操作記録を閲覧・保存することができます。



ログを選択し、カレンダーから検索したい日付を設定後、上図のログ画面が表示されます。

保存したいログを選択し、右下の【バックアップ】をクリック。

20130101 SystemLog.txt  
例：2013年1月1日



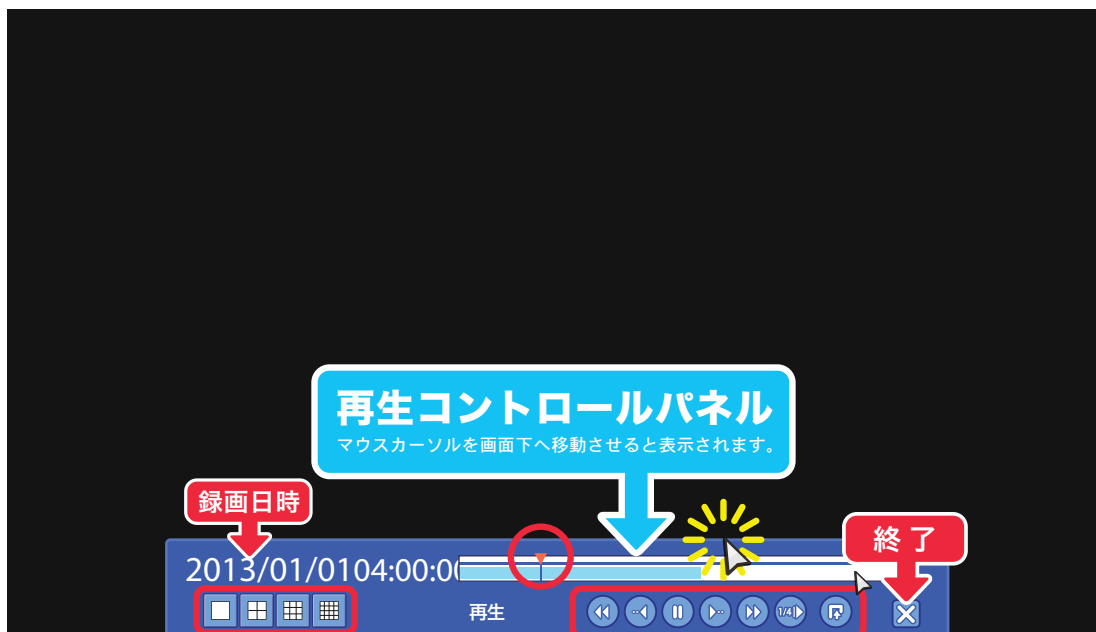
USB メモリー内に、データ日付名のフォルダが作成されます。  
展開すると「SystemLog.txt」というタイトルのテキストデータが保存されています。



# 検索映像の再生

## 検索の方法を選択する

各検索モードで再生データを選択し、再生を開始すると下図のような再生画面が表示されます。



### 再生

現在の操作状態を表示します。  
例：再生 / 一時停止 / 早送り×4 など



### 再生/一時停止

クリックごとに【再生】⇔【一時停止】となります。



### 一分前/一分後

現在再生中の時点より【1 分前】 / 【1 分後】の映像にジャンプします。



### 早戻し/早送り

【早戻し】 / 【早送り】します。クリックするたびに再生速度が「2 倍速→4 倍速→8 倍速→16 倍速→32 倍速→1 倍速…」と切り替わります。



### スロー再生

正方向の再生状態でクリックすると、スローで再生します。クリックするたびに再生速度が「1/4 倍速→1/2 倍速→1 倍速→1/4 倍速…」と切り替わります。

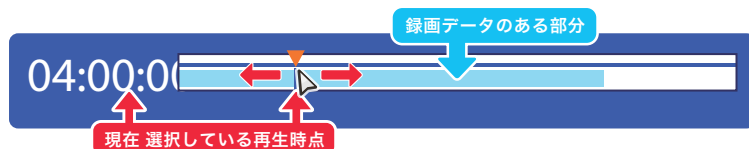


### バックアップ

再生中の映像を静止画または動画でバックアップします。



バックアップ方法については、  
P.9【バックアップ】



24 時間を表すライン上で、録画データの有効な範囲が色分けされています。▼赤いつまみは現在の再生時点を示しており、▼をスライドさせることで再生時点が変更できます。



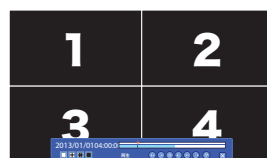
画面の表示方法を選択します。



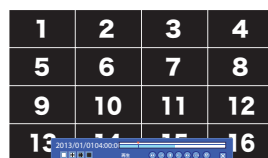
1 画面で表示します。



9 画面 (機種により 8 画面) で表示します。



4 画面で表示します。



16 画面で表示します。

画面の数字は解説上のもので、実際の画面には表示されません。



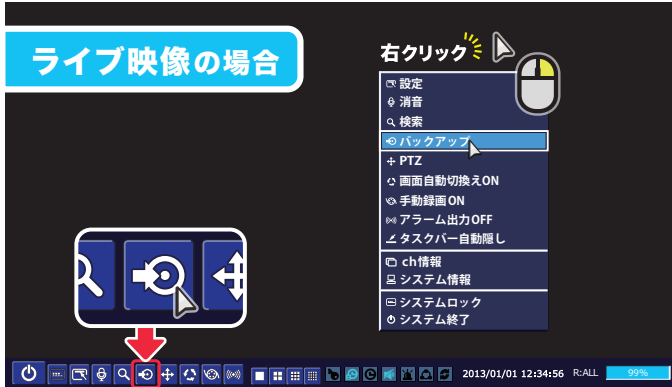
### 終了

録画映像の再生を終了し、通常のライブ画面に戻ります。

# バックアップ

## 静止画でバックアップする

現在 表示している映像を静止画でバックアップします。



### ライブ映像の場合

ツールバーから をクリック。  
(または、右クリックでポップアップメニューを呼び出して  
【バックアップ】をクリック)

ライブ映像の静止画バックアップは、機種により対応していません。

### 再生映像の場合

ツールバーから をクリック。  
保存する形式を「静止画」にチェックして【次へ】をクリック。

保存する形式を選択してください

- ☒ 静止画
- ☐ NSF
- ☐ AVI
- ☐ EXE

< 前へ **次へ >** 閉じる

メディアを選択してください

☒ USBメモリー

< 前へ **開始** 閉じる

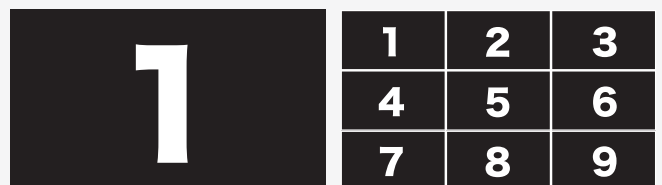
保存先を選択して【開始】をクリック。作業が開始されます。  
機種やシステム構成により、CD-R や DVD-R 等の光学ディスクも使用できます。



バックアップが完了したら【閉じる】をクリックして完了です。



選択した保存先に、データ日付名のフォルダが作成されています。展開すると、時刻の名前（静止画データの時刻）がつけられた画像ファイルが保存されています。



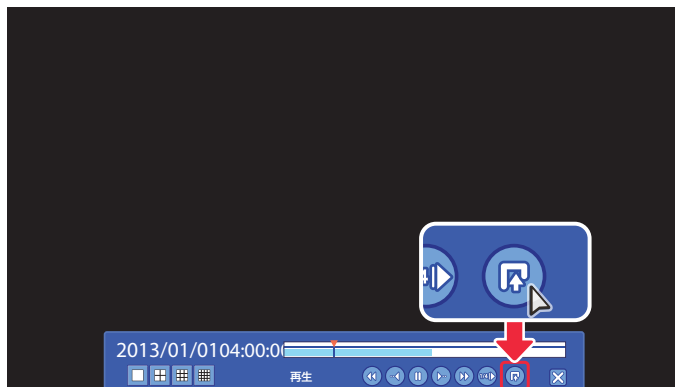
静止画は、現在 表示している画面のまま保存されます。  
1 画面で表示している場合は 1 画面、分割画面で表示している場合は  
分割表示のまま 1 枚の画像になります。

画面の数字は解説上のもので、実際の画面には表示されません。

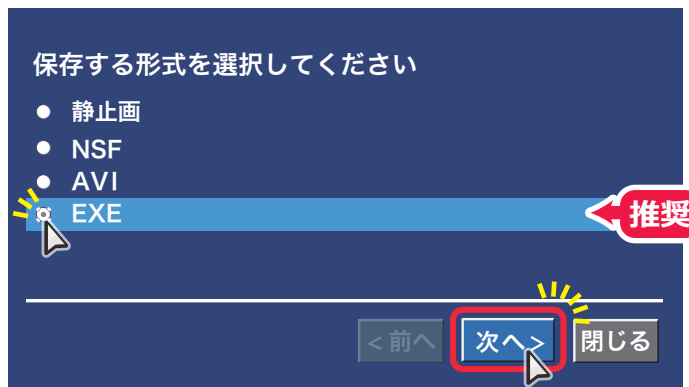
# バックアップ

## 再生映像(動画)をバックアップする

現在 再生している映像を動画でバックアップします。



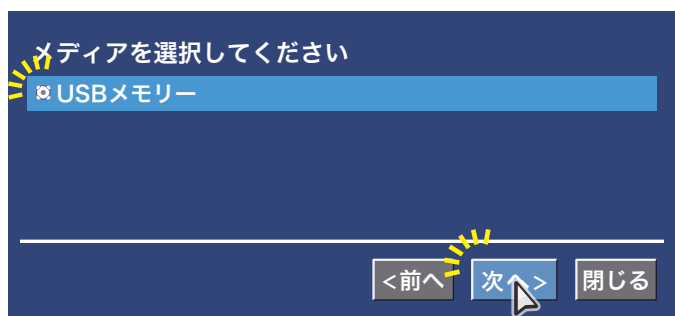
ツールバーから  をクリック。



保存する形式にチェックして【次へ】をクリック。

### 保存形式について

NSF / 外付けの HDD を使用することで、**24 時間までバックアップが可能**です。  
AVI / 再生する PC 環境によって、動画が再生できないことがあります。  
EXE / バックアップファイルを **クリックすると、自動的にデータが再生**されます。  
※本書では EXE 形式での保存を推奨しています。



保存先を選択して【次へ】をクリック。



保存したい CH にチェックを入れ、録画時間(長さ)を指定します。  
時間範囲を確認して、間違いなければ【開始】をクリック。



バックアップが完了したら【閉じる】をクリックして完了です。

20130101 ▶ HD 20130101\_123456.exe  
例 / 2013 年 1 月 1 日      例 / 2013 年 1 月 1 日 12:34:56

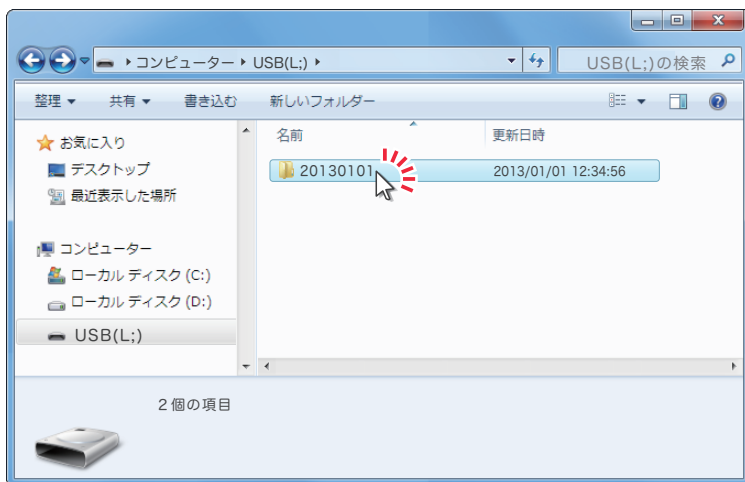
選択した保存先に、データ日付名のフォルダが作成されています。  
展開するとバックアップした映像データが保存されています。

### バックアップ

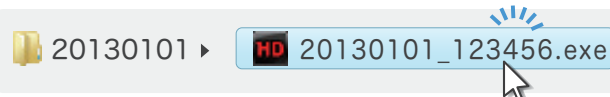
保存したデータの再生方法は、  
P.11 【動画を再生する】

# バックアップの再生

## 動画を再生する



EXE 形式で映像データをバックアップすると、日付の名前のフォルダが作成されます。



その中の exe 形式のファイルをクリックすると、バックアップした動画が再生されます。

## HD Player (再生ソフト)



- 映像をフルスクリーンで表示します。元の画面に戻るには、キーボードの「Esc」を押してください。
- 「HD Player」のウィンドウを最小サイズにします。
- 「HD Player」のウィンドウを最大サイズにします。
- 「HD Player」を終了します。



タイムバーにあるつまみが現在の再生位置を表しています。つまみをスライドさせることで、再生時点を変更することができます。



- 映像を再生 / 停止します。
- 映像の早戻し / 早送り再生を切替えます。ボタンをクリックすること、2 倍速 / 4 倍速を繰り返します。
- 映像を一時停止 にしている場合 となり、このボタンをクリックすると、1 秒前 / 後へ移動します。
- 現在再生中の時点より 1 分前 / 後の映像にジャンプして再生します。

設定画面を表示します。設定画面では、キャプチャー画像の保存フォルダの指定や、バージョン情報の確認などができます。

再生中の画像をプリントします。  
お使いの PC にプリンターが接続されている場合のみ。

# 時計合わせ

## 誤差が生じた時刻表示を正常に戻す

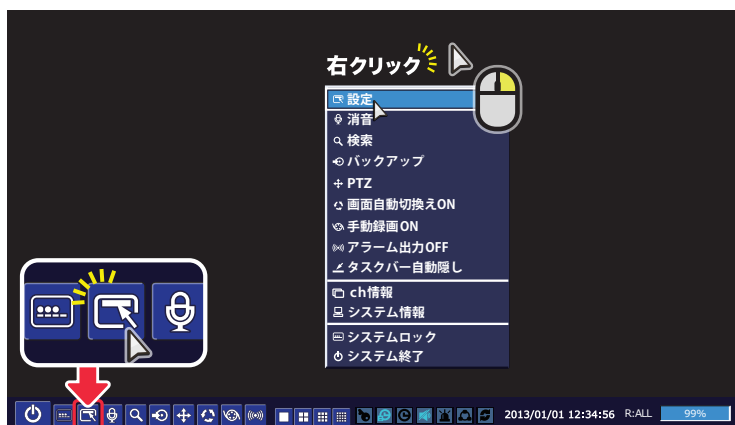


ご 注 意

本項目で解説している「時計合わせ」は、システムの設定項目を操作します。設定項目の中には、変更してしまうとレコーダーのデータ消失や録画解除など、意図せぬ結果を招く恐れがあります。設定項目内では「時計合わせ」以外の操作は行わないで下さい。

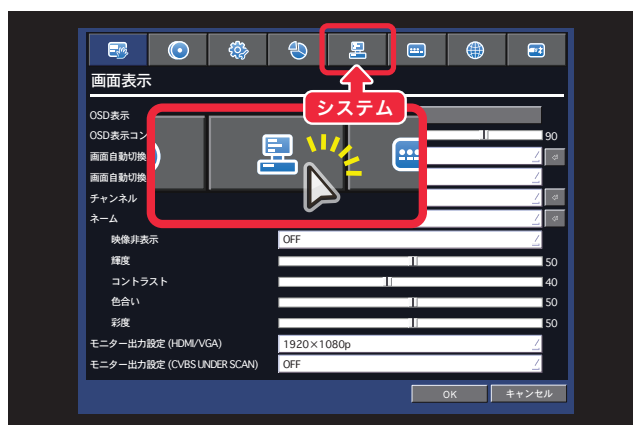
実際の時間よりも進んでいるレコーダー時間を修正した場合、新しく設定した時間以降にあった録画済データはすべて失われます。

例 / レコーダー時刻 17:00 を 16:00 に戻した際、戻す前の 16:00 ~ 17:00 に相当する時間帯の録画データが消失。



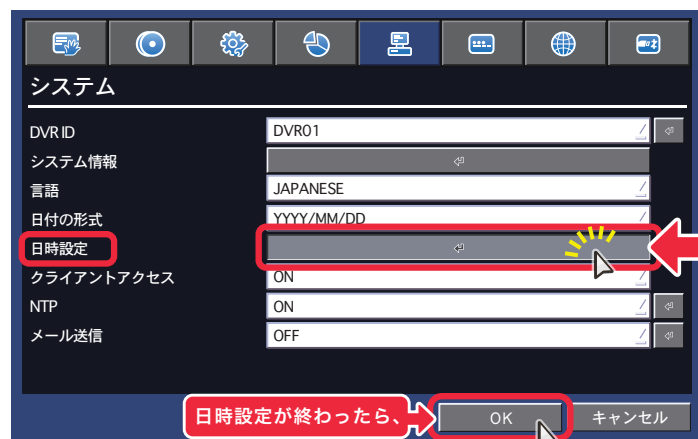
ツールバーから をクリック。

(または、右クリックでポップアップメニューを呼び出して【設定】をクリック)



設定ウィンドウが表示されます。

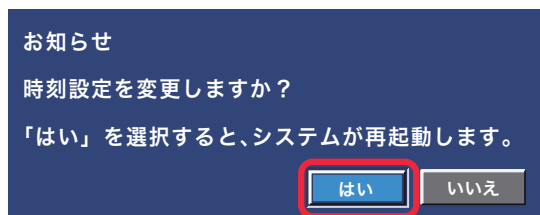
上の【システム】タブをクリック。



日時設定が終わったら【OK】をクリック。

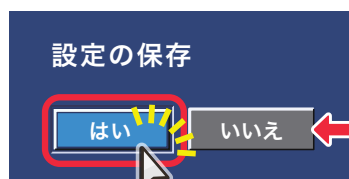


上図が表示されたら【日時設定】にチェックを入れ、正しい現在日時を入力します。入力後【OK】をクリック。



確認ウィンドウが表示されます。

【はい】をクリック。



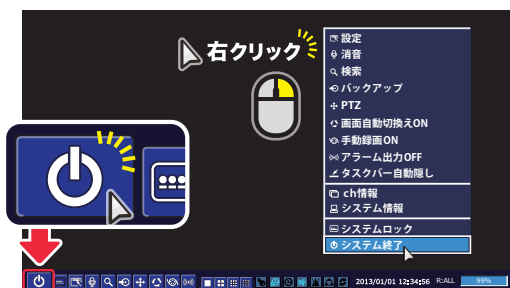
※この時点で上図にて設定した日時が反映されます。

設定の保存で【はい】をクリックすると、自動的にシステムの再起動が始まります。

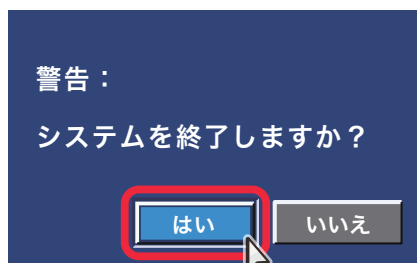
# システムの再起動

映像表示や録画動作が不安定になるなどのシステムトラブルが発生した際、再起動を行うことで復旧する場合があります。

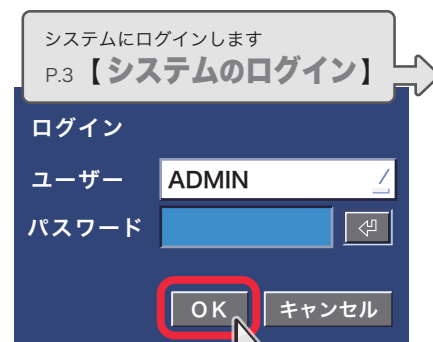
## システムを再起動する(通常版)



ツールバーから をクリック。  
(または、右クリックでポップアップメニューを呼び出して【システム終了】をクリック)

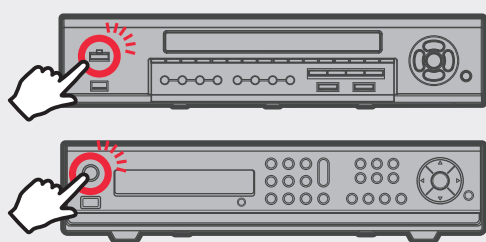


システムを終了するための確認画面が表示されたら【はい】をクリック。



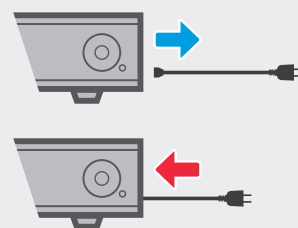
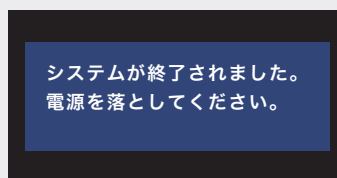
パスワードを入力して【OK】をクリック。  
自動的にシステムが終了されます。

### 対象機種 GR116,216,116N



システムの終了が完了したら、レコーダー本体の電源ボタン を押します。

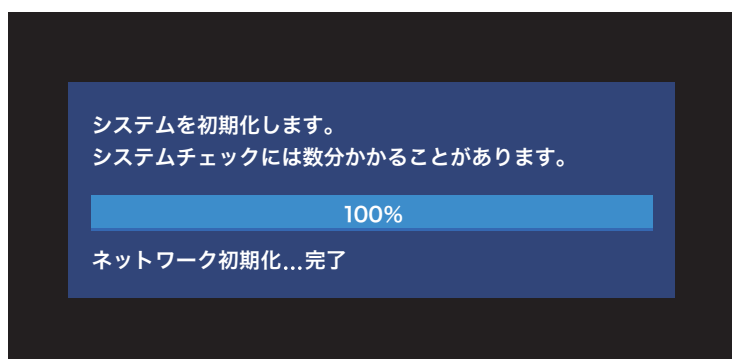
### 対象機種 GR204, GR304, HR416, HR516, GR616, 104N, 204N, 304N, 316N, 416N



上図のウィンドウが表示されたら、レコーダー本体の電源コードを抜き差しします。



システムの起動が始まります。  
しばらくお待ち下さい。



自動的にシステムが初期化され、通常のライブ画面が表示されます。  
システムの初期化には1分～数分の時間がかかります。

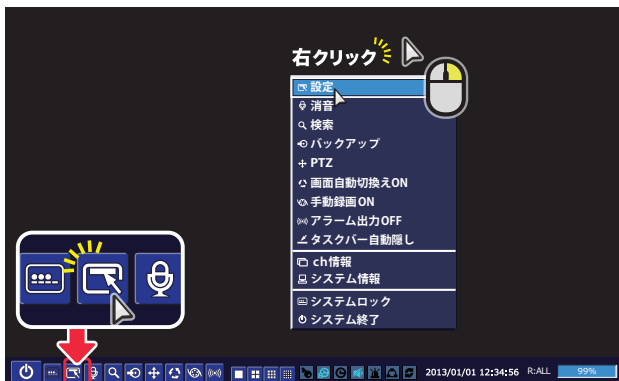
※本項目はシステムのバージョンや構成により対応しない場合があります。

## システムを再起動する(一部機種対応)

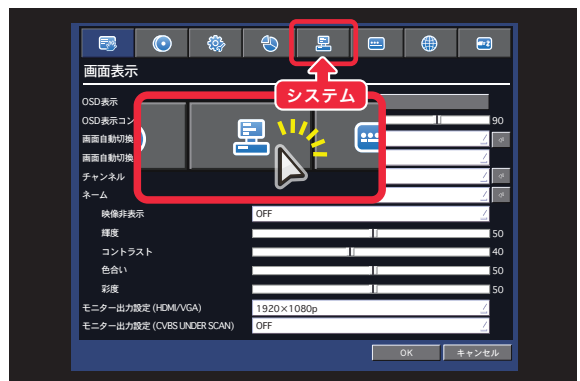


ご注意

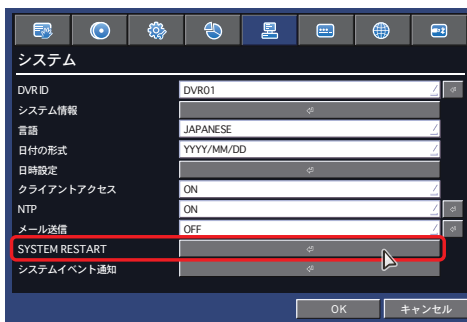
本項目で解説している内容は、システムの設定項目を操作します。設定項目の中には、変更してしまうとレコーダーのデータ消失や録画解除など、意図せぬ結果を招く恐れがあります。  
設定項目内では解説内容以外の操作は行わないで下さい。



ツールバーから をクリック。  
(または、右クリックでポップアップメニューを呼び出して【設定】をクリック)



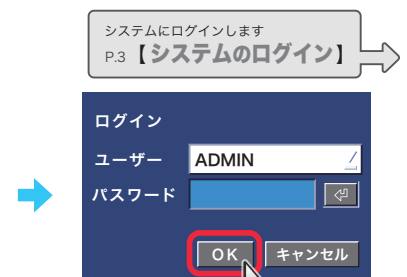
設定ウィンドウが表示されます。  
表示されている項目には触らず、上の【システム】タブをクリック。



【SYSTEM RESTART】の をクリック。



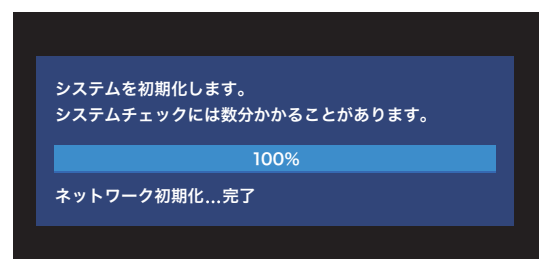
警告が表示されたら【はい】をクリック。



パスワードを入力して【OK】をクリック。



システムの再起動が始まります。  
しばらくお待ち下さい。



自動的にシステムが初期化され、通常のライブ画面が表示されます。

システムの初期化には1分～数分の時間がかかります。





- 本書は異なるチャンネル(16CHと4CH)のレコーダーの共通マニュアルです。
- 機種や CH 数により表示内容が違ったり、対応しない機能などが一部含まれるほか、御導入のシステム構成によって、サポートされない機能などもございます。
- 改良のため、予告なく仕様・外観などを変更する場合がございます。